

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DOC)	事務事業名	No. 690135	中学校教育活動事業				主管課名	学校教育課				
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	花井 伸				
		施策	豊かな心と個性が輝くまち									
		基本事業	教育内容・活動の充実									
	(1)事業の概要											
	1.教育活動事業 体育大会、生徒指導、各種大会等生徒派遣など、各校の特色ある教育活動を推進するため、活動事業補助金を交付します。 2.キャリア教育推進事業 県事業の委託を受けて市内4中学校でキャリア教育を行います。 3.卒業記念品・入学祝品配布事業 該当生徒に記念品を贈ります。 4.日本スポーツ振興センター災害給付事業 共済給付金の給付事務を行います。学校安全の普及充実に図ります。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)					
							名 称		単位			
							中学校2年生参加生徒数		人			
							記念品・祝品購入数		個			
							中学校生徒数		人			
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)												
1.各校の特色ある教育活動を推進するため、活動事業補助金を交付した。 2.県事業の委託を受け職場体験学習を行った。 3.卒業記念品・入学祝品を購入し贈呈した。 4.学校の管理下で災害が発生した際に、センターへ給付金を請求し保護者へ給付した。5月に加入名簿の更新と掛金の支払を行った。												
24年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
中学校数 中学校卒業生及び次年度入学予定者 生徒及び保護者						名 称		単位				
						キャリア教育推進校		校				
						中学校生徒数		人				
						災害共済給付		人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
教育活動が活発化する。 卒業・入学後の学校生活等で活用してもらう。 学校生活における安全意識の向上を図る。						名 称		単位				
						教育活動の活発化が図られた学校の割合		%				
						記念品・祝品を利用している人数		人				
						スポーツ振興センター災害給付事業加入数		人				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくとともに、規則正しく生活する健康な体力づくりを行う環境を育てる						名 称		単位				
						教育基本計画における重点施策の達成率		%				
						体力テストの県平均を上回った種目の割合		%				
						身体測定の全国平均を上回った項目の割合		%				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		人	683	698	820	832	839	804				
		個	1,511	1,609	1,653	1,639	1,592	1,608				
		人	2,040	2,178	2,317	2,456	2,486	2,414				
(6)の対象指標		校	4	4	4	4	4	4				
		人	1,511	1,510	1,653	1,639	1,592	1,608				
		人										
(7)の成果指標		%	100	100	100	100	100	100				
		人	1,511	1,609	1,553	1,639	1,592	1,608				
		人	2,040	2,178	2,317	2,456	2,486	2,414				
(8)の結果の成果指標		%	100	100	100	100	100	100				
		%	75	75	75	75	75	75				
		%	30	30	30	30	30	30				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	03	目	02
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	8,840	9,138	10,082	10,016	10,002	9,975				
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0				
	県支出金	千円	504	400	440	368	368	350				
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0				
	その他	千円	878	946	1,027	1,058	1,067	1,031				
	一般財源	千円	7,458	7,792	8,615	8,590	8,567	8,594				
人件費B		千円	1,992	1,635	1,635	1,635	1,635	1,635				
正職員従事時間×人数		時間×人	135×4	145×3	145×3	145×3	145×3	145×3				
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0				
その他費用C		千円	49	94	94	94	94	94				
トータルコストA+B+C		千円	10,881	10,867	11,811	11,745	11,731	11,704				
単位あたりコスト		千円/校	2,720	2,717	2,953	2,936	2,933	2,926				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	7	7	7	7	7	7				

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690135	中学校教育活動事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			特になし
	県補助制度により開始し、補助金見直しにより平成15年度に統合した。 3.4.はかなり以前から行っている。			
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化している		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 学校教育関係補助金交付要綱	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい		理由又は内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	補助金、記念品、災害共済給付とも十分に活用されている。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名		
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容		
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容		
(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
有効性	ない	→	類似事業との再編の可能性	ある	→	内容
	ない	→	内容			
効率性	ない	→	内容			
	ない	→	内容			
公平性	ある	→	現状で適正			
	ない	→	検討が必要	→	内容	
受益者がいない						

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	県事業費は今後減額される可能性がある。現在の活動水準を維持するため、市費予算の増額を検討していきたい。					